

紫藤新聞



宮城県白石工業高等学校 報道委員会

〒989-0203 宮城県白石市郡山字鹿野 43

TEL 0224-25-3240 FAX 0224-25-1476

令和二年十一月一日、晴天の中、一般公開は書道部のパフォーマンスで華やかに幕を開けることができました。コロナ禍のため、いろいろな制限のある中で文化祭となりました。様々な行事や大会のために日程もなかなか定まらず、準備期間も大変短い中での開催でした。しかし、そのようなことを感じさせないほどの成功を収めることができました。『破竹之勢』というテーマ通り、一致団結して成功を目指し、共に頑張りをみせた全校生徒が、協力し合った結果です。

全校制作はモザイクアートを制作し正面玄関に展示。三密を避けるため、開閉会式をオンラインで行い、クラス旗に代わりオリジナルマスクを制作しました。例年を超える新しい形での、今できる最高の素晴らしい文化祭となりました。



書道パフォーマンスの作品(上)

文化祭テーマ『破竹之勢』

大成功! 進化した白工祭

破竹之勢 ~あの坂を登りつめた先に未来が待っている~

校内の各所に縦横1.5m程の間隔を空けたイートインスペースを設置し、各自で購入した食品の飲食を可能にしました。中庭のイートインスペースはイベントステージの方向に向けて設置し、イベントを鑑賞しながら飲食することができました。付近には除菌作業を担当する生徒が複数名待機し、席が空くたびに除菌をすることで感染抑制に励みました。

青空食堂

入場ゲートは2カ所に限定し、出入り口を分ける、検温、人物確認など、(ウイルスを校内に入れない)ために多くの人員を配置して、徹底した管理を行いました。2カ所の入場ゲートは白工祭を彩り、生徒の工夫した装飾が施されていました。駐車場の整備を始め、出入り口の安全を守ることでより安全を徹底させ、文化祭を成功というゴールへと導きました。模擬店は中庭全体に分散させて配置することにより、密集や密接を防ぎました。

入場ゲート

知恵結集させ 随所に工夫



除菌作業を行う生徒



シールドの中で物品販売を行う生徒



入場ゲート

〜感染予防を徹底しながら 楽しめる工夫〜

シールド

各科の展示発表にも随所に感染予防の工夫がみられました。各科、各部の展示会場は普段よりも空間をゆったりと使用し、換気も徹底しました。その中でも写真部の展示は教室を通路になるようにパネルを設置し、一方通行の展示発表形式にするなど、観る人の動線を考えた作りになりました。茶道部でもお茶会の参加人数を制限しつつ、お菓子の提供をパッケージごと配るようしたり、席にゆとりを持たせる配置にしたりするなどして、例年に限りなく近い形での発表を行っていました。また、各ブースではパーティションなどのシールドを設け、飛沫感染を防ぎながら、従来の展示や体験コーナーの実施を行いました。



パーティションを使い体験コーナーを設置(将棋部)

新イベント

ステージでは男装女装コンテストやクイズ大会が行われましたが、すべてのイベントで大変な盛り上がりが見られました。中庭イベントの1つである伝言ゲームは今年オリジナルのイベントです。仕切りをうまく使うことによりゲーマ性の充実を図り、さらに観客に見える工夫をし、参加するすべての人を楽しませることに成功しました。



仕切りをうまく利用したイベントのようす

【今後の行事予定】

- 1月25~27日 1学年スキー教室
- 1月27~2月1日 3学期期末考査
- 2月18~24日 1, 2年期末考査
- 2月25日 予餞会
- 2月26日 卒業式予行, 同窓会入会式
- 3月1日 卒業式
- 3月4日 入学者選抜